



公開講演会

第56回 現代のラテンアメリカ

コスタリカ を味わう。

周縁化されてきた人びと

—先住民族、アフロディセンディエントス、移民—
がつむぐ食の現在

2026年 10月3日(土)
17:30～19:00

「コスタリカ」と聞くと、軍隊を持たない平和国家、環境先進国、民主主義の優等生、人権を尊重する国といったポジティブなイメージを思い浮かべますが、それは一側面にすぎません。「食」もまた、人と人をつなぐ“おいしい”側面が強調されがちですが、その背後にはしばしば見えにくい歴史や権力関係が潜んでいます。本講演では、食に注目することで、コスタリカ社会に根づく抑圧の構造に目を向けます。具体的には、歴史的に周縁化されてきた先住民族、アフロディセンディエントス（アフリカ系コスタリカ人）、そして移民の食の経験を手がかりに、その構造を検討するとともに、近年に見られる変化の兆しについても紹介します。こうした視点からコスタリカを語り直すことで理解を深め、世界的に展開されている「脱植民地化」の議論への寄与を試みます。

講師

額田 有美 氏（南山大学外国語学部 講師）

場所

対面会場：立教大学池袋キャンパス 7号館 7101教室
オンライン：Zoomウェビナー

申込

対面参加申込(200名)



<https://s.rikkyo.ac.jp/261003c>

オンライン参加申込(300名)



<https://s.rikkyo.ac.jp/261003on>

参加
無料

主催

立教大学ラテンアメリカ研究所

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

03-3985-2578 / late-ken@rikkyo.ac.jp